

森づくりで環境問題を解決する方法

～自分の出したCO2に責任を持つカーボンオフセット事業の検証～

基調講演 國田かおる氏 Carbon to Forests 代表

森林は、古来から人間の生活に密着しており、人を育み、人に守られる共生の思想や文化を生んでいます。世界有数の森林国である日本でも、独特の自然認識による森づくりがおこなわれてきました。しかし、木材価格の暴落に連動して森林には資金が還元されなくなり、山村の過疎化、高齢化が進み、放置され荒れた森林が急増するなど、森づくりは危機を迎えています。

地球規模で、地球温暖化を加速させるとされる、二酸化炭素の影響が懸念されていますが、最近、環境問題対策として、カーボンオフセットの仕組みが注目されています。市民、企業、自治体などが温室効果ガスを削減する努力をする中で、どうしても削減できない部分について、森林管理によって吸収・固定化することでオフセット（相殺）するシステムです。現在、日本では仕組みルールづくりがすすめられ、高知県や北海道など一部の地域ですでに始まっています。しかし、吸収量算定の明確化や、どの森林施業を対象と見なすのか、結果の信頼性を担保する方法に森林認証制度を導入できないかなど課題は山積しています。

そこで、カーボンオフセットの仕組みの理解と九州モデルの実現の可能性を検討するためのセミナーを開催します。九州の森を守る皆様の積極的なご参加をお願いします。

事例研究 ① 水谷伸吉氏 有限責任中間法人 モアトゥリーズ 事務局長

② 春日隆司氏 北海道下川町地域振興課長

日時 平成20年11月28日（金）

場所 宮崎県諸塚村しいたけの館21

参加費 資料代1000円（QFN会員は免除）

セミナー 13:10～17:30

懇親会 18:00～（会費3000円）

※元気・四季を食べる「どんこ亭」にて

宿泊希望者：民宿5000円（1泊朝食付）

主催：諸塚村 NPO九州森林ネットワーク

申込締切：11月24日（月）※先着順

講師紹介 國田かおる（くにた・かおる）

2001年慶應義塾大学法学部法律学科卒業後、エネルギー会社を経て、松下政経塾に入塾。得意の英語力とフットワークで国内外のLOHAS最新情報を日まりサーチするとともに、自ら実践している。地球温暖化対策を主とした環境・経済・社会問題の研究をする傍ら、LOHASの研究・普及活動に従事。

旅行で排出したCO2を相殺(オフセット)するための情報発信団体Carbon to Forests代表。

問合せ：諸塚村企画課 TEL 0982-65-1116

◆森づくりセミナー参加申込書

申込先：諸塚村企画課 FAX0982-65-0032

申込み代表者							
所属							
連絡先	住所						
参加者	参加希望セクション						
	28日						
	昼食 (山菜弁当)	フォーラム (QFN会員は免除)	交流会	宿泊		合計	
500	1,000	3,000	民宿 (朝食付)	古民家 (自炊・朝食なし)			
(例) 森 太郎	○	○	○	○	5,000	3,000	10,000
コメント							

●28日の宿泊希望者の料金は目安です。

問合せ・連絡先：諸塚村企画課 TEL0982-65-1116